

2022年7月17日(日)

日本キリスト教団 <sup>きゅうほうきょうかい</sup>久宝教会

第65巻第14号(通算3296号)

教会設立 1959年6月14日

〒581-0072

大阪府八尾市久宝寺6丁目7-10

TEL 072-992-2131 FAX 072-992-2135

郵便振替: 00980-5-212130 「日本基督教団久宝教会」

【集会案内】こどもの礼拝: 毎日曜 10:00-10:20 何かお悩みがありましたらご遠慮なくご相談ください  
主日礼拝: 毎日曜 10:30-11:30 小さい子どもたちも、いつでも歓迎いたします。

しゅうほう

# 週報

教会標語

<sup>かみさま</sup>神様がすべての人<sup>ひと</sup>と共<sup>とも</sup>におられる  
ことを証<sup>あかし</sup>ししていく教会<sup>きょうかい</sup>



ホームページ「久宝教会」  
(ウェブサイト)

<http://www.koinonia.or.jp/kyuhokyokai>  
【連絡先(牛田)】090-9161-4027

[kyuho-church@koinonia.or.jp](mailto:kyuho-church@koinonia.or.jp)

この「確かさ」は当て外れということがありません。私たちが頂いている聖霊の働きによって、人を大切にする神の思いが、すでに私たちの心に注がれているからです。(ローマ 5:5)

## せいれいこうりんせつ 聖霊降臨節

### だい しゅじつれいはい 第7主日礼拝

《<sup>れいはい</sup>礼拝はインターネットで中継配信<sup>ちゅうけいはいしん</sup>いたします。ホームページにてどなたでも  
<sup>しちょう</sup>ご視聴いただけますので、それぞれの場所<sup>ばしょ</sup>で共に礼拝<sup>れいはい</sup>をしていただけます》

ぜん そう もくとう ちよさくけんしょうめつ  
前奏(黙 禱) AVE VERUM CORPUS (©著作権消滅)

まね ことば しんと てがみ しょう せつ  
招きの詞 ガラテヤの信徒への手紙 5章 5-6節

さんび か ばん かみ しゅ きょうだんさんびかいいんかい  
賛美歌 21-224番「われらの神、くすしき主よ」(©教団讚美歌委員会)

せい しょ しょう せつ  
聖書 エレミヤ書 23章 16-32節

いの  
お祈り

さんび か きょうどうたいさんびかしゅう ぜつぼう なか しゅ  
賛美歌『アイオナ共同体賛美歌集』「絶望の中に主はよみがえる」(©JASRAC)

メッセージ 「偽りの夢 真実の夢」 牛田 匡 牧師

さんび か ばん てんし  
賛美歌 21-201番「天使のことばも」(©JASRAC)

しゅ いの ばん てん わたし ちち きょうだんさんびかいいんかい  
主の祈り 21-62番「天にいます 私たちの父」(©教団讚美歌改訂委員会)

ささげもの  
献げ物 (\*)

は けん ばん かみ めぐ う せつ  
派遣 21-91番「神の恵みゆたかに受け」(1節のみ) (©JASRAC)

しゅく ぶく しょう せつ  
祝福 牛田 匡 牧師

こう そう ばん ちよさくけんしょうめつ  
後奏 アーメン コーラス (21-40-6番) (©著作権消滅)

ほう こく ぺーじ さんしょう  
報 告 (4頁をご参照ください)

《お隣と間隔をあけて、席にお座りになったままで礼拝にご参加ください》

\* 「献げ物(献金)」は参加費ではございません。

うけつけ けんきんばこ ようい かた ささ  
受付に献金箱がございます。ご用意のある方のみ、お献げください。

招きの詞 ガラテヤの信徒への手紙 5 章 5-6 節 (聖書協会共同訳©日本聖書協会)

<sup>5</sup> 私たちは、霊により、信仰に基づいて義とされる希望を、心から待ち望んでいます。<sup>6</sup> キリスト・イエスにあっては、割礼の有無は問題ではなく、愛によって働く信仰こそが大事なのです。

聖書 エレミヤ書 23 章 16-32 (聖書協会共同訳©日本聖書協会)

<sup>16</sup> 万軍の主はこう言われる。／あなたがたに預言する預言者たちの言葉を／聞いてはならない。／彼らはあなたがたを空しいものにしようとしている。／彼らが語るの<sup>は</sup>自分の心の幻であって／主の口から出たものではない。

<sup>17</sup> 彼らは私を<sup>あなど</sup>侮る者たちに向かって／「平和があなたがたに<sup>のぞ</sup>臨むと／主が語られた」と常に言う。／また、かたくなな心のままに歩む／すべての者に向かって／「あなたがたに<sup>わざわ</sup>災いは来ない」と言う。 (脚注 a:「に向かって」)は補足)

<sup>18</sup> 一体誰が主の会議に立ち、その言葉を見聞きしたか。／誰が注意を払い、その言葉を聞いたか。

<sup>19</sup> 主の嵐が、<sup>いきどお</sup>憤りが吹き出る。／暴風が巻き起こり、悪人の頭上で渦を巻く。

<sup>20</sup> 主の怒りは、<sup>みこころ</sup>御心を行って／成し遂げるまで去ることはない。／終わりの日に／あなたがたはこのことをはっきりと悟る。

<sup>21</sup> 私は預言者たちを遣わさなかったのに／彼らは走る。／私は彼らに語らなかったのに／彼らは預言する。

<sup>22</sup> もし、彼らが私の会議に立っていたなら／私の民に私の言葉を聞かせ／彼らを悪の道から、その悪行から／立ち帰らせたであろうに。

<sup>23</sup> 私は近くに<sup>おほ</sup>いる神なのか――主の仰せ。／遠くに<sup>おほ</sup>いる神ではないのか。

<sup>24</sup> 人がひそかな所に身を隠したなら／私には見えないとでも言うのか――主の仰せ。／天をも地をも、私は満たしているではないか／――主の仰せ。

<sup>25</sup> 私の名で偽りを預言する預言者たちが、「私は夢を見た、私は夢を見た」と言うのを、私は聞いた。<sup>26</sup> 偽りを<sup>あざむ</sup>預言する預言者たちの心に、いつまで偽りがあるのだろうか。彼らは自分の心の欺きを預言する者だ。<sup>27</sup> 彼らの先祖がバアルのゆえに私の名を忘れたように、彼らは互いに自分の夢を語って、私の民に私の名を忘れさせようともくろんでいるのだ。<sup>28</sup> 夢を見た預言者は夢を語るがよい。私の言葉を受けた者は私の言葉を真実をもって語らなければならない。／わらと穀物に何の関わりがあろうか――主の仰せ。

<sup>29</sup> このように、私の言葉は火のようではないか／――主の仰せ。／また、岩を打ち砕く<sup>つち</sup>槌のようではないか。

<sup>30</sup> それゆえ、私は互いに私の言葉を盗み合う預言者たちに立ち向かう――主の仰せ。

<sup>31</sup> 私は自分たちの舌を用いて「仰せ」と告げる預言者たちに立ち向かう――主の仰せ。<sup>32</sup> 今、私は偽りの夢を預言する者たちに立ち向かう――主の仰せ。彼らはそれを語り、偽りと気まぐれをもって私の民を惑わしている。私は彼らを遣わさず、彼らに命じもしなかった。彼らはこの民にとって何の役にも立たない――主の仰せ。

《先週のメッセージより》2022年7月10日部落解放祈りの日礼拝

「大きいことはできないけれど」より

牛田匡牧師

聖書 エステル記 4章 10-17節

「あなたの今があるのは、この日のためだったんだ」「この働き、この務めを果たすために、今までがあったんだ」そのような言葉をかけられると、多くの人は使命感に目覚め、心が焚きつけられるのではないかと思います。『エステル記』の主人公エステルも、ペルシャという異国の地の王宮に入り、王妃になったことで、養父モルデカイのこの言葉によって立ち上がり、同胞であるユダヤ人の命を救うことができました。また今年で100年を迎えた「全国水平社宣言」もまた、それを聞いた被差別の多くの人たちを立ち上がらせました。それは踏みつけられ、絶望の中に沈み込んでいた人々にとっての、死から引き起こしであり、されるがままの姿勢から、自ら立ち上がり歩み出すという生き方の転換でもありました。しかし、気を付けていないと、そのような使命感は独り善がりの独善や、排他主義にもすぐに結びついてしまいます。

桃太郎が鬼を退治して「めでたし、めでたし」なのと同じように、『エステル記』もユダヤ人たちを救い出し、そんなひどい計画を立てた宰相とその一族は処刑されて「めでたし、めでたし」となっています。昔話としては、分かりやすい筋書きですが、現実は違います。差別をされてきた人たちが、差別をしてきた人たちに仕返しをしたところで、何も有益なものは生まれません。戦争もそうです。そこに残るのはただ破壊だけです。聖書の中で、命の神は、何度も何度も「恐れるな」と人々に呼びかけられました。恐怖心は、柔軟な心を頑なにして時に暴力を生みます。悪者と思われる相手を暴力によって排除したところで、新たな暴力の連鎖を生むだけです。むしろ差別や暴力の構造を無くすためには、「命を大切にすること」というすべての命を造られた神様の御心にしたがって、互いに認め合い赦し合い尊重し合いながら、共に生きていく関係性を作っていくしかありません。

私たちには、大きいことはできません。「自分には大きいことができる。その使命を果たすために、これまでの苦労があったんだ」……。そのように思う時、私たちは自己正当化、独善と排他主義と、紙一重の所にいます。むしろ、大きいことはできないけれど、たとえ小さくても心の中を恐れや不安でいっぱいにしてしまわないこと、今与えられている命やもの、こと、場所に感謝すること、自分自身と周りの人たちの関係性、一つ一つの命を大切にすること。それらを通して、私たちはこの世界を善いものに作り変えていく、命の神様の御心に満ちた「神の国」が実現していくことの、小さなお手伝いをしていくのだと思います。

毎週の「メッセージより」は、ウェブサイト等にも順次掲載されています。

ホームページ



Facebook

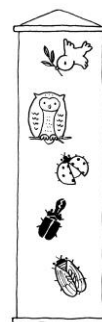


LINE 公式アカウント



◎ 先週の報告 7月10日

主日礼拝出席 大人 2名 中継動画再生数 10回  
 献金 大人 2,000円 感謝



◎次週 2022年7月24日(日) 聖霊降臨節第8主日礼拝

招きの詞 詩編 119編 130-132節

聖書 マルコによる福音書 8章 22-26節

メッセージ「放っておけない仲間」牛田匡牧師

賛美歌 21-360番 (©P.D.)、21-520番 (©改訂委)、21-486番 (©JASRAC)

礼拝はインターネットで中継配信いたします。礼拝後には、釜ヶ崎支援のための「おにぎり作り」を行い、いこい食堂にお届けします。どなたでもご参加ください。

◎お知らせ

- ・新型コロナウイルス感染症の感染爆発「第7波」が到来し、再び感染者が急増し続けています。ご自身の感染予防のためにも、他人に感染させないためにも、教会堂に集まる形での礼拝にこだわらず、インターネットの中継配信を利用したご在宅での礼拝など、それぞれの方が参加しやすい形で礼拝にご参加ください。「週報」や「メッセージ(全文)」はホームページからダウンロードしていただくことができます。
- ・7月28日(木)10時半~12時半に、在日大韓基督教会・大阪教会(今里駅下車徒歩10分)にて、韓日教会女性交流会「第30回 虹の会」が開催されます。主題は「祈り合いながら恵みの種を蒔きましょう」で、講師は新井由貴牧師(在日大韓基督教会・京都南部教会)です。在日大韓基督教会関西地方教会女性会連合会と、日本基督教団大阪教区婦人会連合との共催です。参加費は無料で、事前申し込みも不要です(自由献金はあるかもしれませんが)。会場へのアクセスは、在日大韓基督教会・大阪教会のウェブサイトをご参照ください。

<http://osakachurch.or.jp/ja/traffic-info/>



◎ 次週以降の行事予定

	メッセージ	行事
7/24	牛田牧師	おにぎり支援
7/31	岡嶋伝道師	誕生者祝福式
8/7	牛田牧師	平和聖日・ユウカリスト・(考える会なし)
8/14	水谷牧師	



**韓日教会女性交流会**

**第30回 虹の会**

主題:「祈り合いながら恵みの種を蒔きましょう」

～共に祈る「祈り」～

講師:新井由貴 在日大韓基督教会 京都南部教会牧師

日時 2022年7月28日(木) 10:30~12:30  
 場所 在日大韓基督教会 大阪教会  
 主催 在日大韓基督教会関西地方教会女性連合会  
 日本基督教団大阪教区教会婦人会連合



1981年 クリスマン家庭に在日3世として生まれる  
 2004年 3月 ルーテル学院大学卒業  
 2006年 3月 総会神学校卒業  
 2006年 4月 在日大韓基督教会神戸教会の伝道師  
 2008年 5月 関東地方会にて牧師助手を受け、  
 在日大韓基督教会東京蒲田教会担任牧師  
 2015年~2019年 在日大韓基督教会名古屋教会担任牧師  
 2019年 9月 ソウル神学大学院入学(説教学)  
 2021年 8月 ソウル神学大学院卒業  
 2022年 4月 在日大韓基督教会京都南部教会担任牧師として就任

講師紹介



大阪教会へのアクセス  
 〒544-0032 大阪市生野区中川西2丁目5番11  
 ☎ 06-6721-3377 / 📠 06-6712-3378